

ワークショップ型授業による教育的效果の検証 —特別支援学校における布を用いた自己表現を促す授業づくり—

内藤研究室

A22AB109 平井亨佳

緒言

現代における「生きる力」を育む上で、新井¹⁾、ワークショップ型授業を「豊かな人間」の形成を目指す造形教育の性格と同義であると指摘している。つまり、自己表現を伴い、生徒が主体的に参加しやすいワークショップ型授業は、有効な学習形態の1つであるといえる。一方、特別支援学校では、表現が一過性にとどまり、継続的に発展し日常生活と結びついた実践は十分とはいえない点が課題として挙げられる。また、その場で絵を描くなどの表現する活動は見られるが、日常生活に結びついた学習活動へと発展させる実践は限られていることが実情だといえる。

そこで本稿では、「自分らしさ」「地域らしさ」「みんならしさ」を取り入れたワークショップ型授業を実践する。これらの教育的效果について検証する。

研究方法

ワークショップ型授業の設計と実施計画

[ワークショップ概要]

実施目的：「布を用いた創作活動」を取り入れた授業の教育的效果を検証するため。

実施回数：一宮特別支援学校 高等部 2回
一宮東特別支援学校 高等部 2回
合計4回のワークショップ型授業を実施

[ワークショップ1 内容]

- ・東袋や風呂敷・巾着袋の柄（モチーフ）の作画
- ・尾州産生地に触れて地域産業について学習
- ・くるみボタンの生地選び

[ワークショップ2 内容]

- ・くるみボタンの制作
- ・布製品の配布、使用方法の体験

[ワークショップ2までの期間(準備)]

- ・布への印刷
ミマキエンジニアリングテキスタイルプリンター
- ・各布製品(東袋・風呂敷と巾着袋)の縫製・制作

参与観察

観察項目：表情・行動・発言

調査方法：上記項目を観察シートに言語記録する。

アンケート調査

(1) 授業アンケート

目的：各ワークショップ前後で生徒の気持ちの変化を調査するため。

対象：ワークショップ参加の生徒

(2) 事前アンケート・事後アンケート

目的：各校での2回のワークショップ実施前後における意識の変化を調査するため。

対象：ワークショップ参加の生徒・保護者・教員



研究結果と考察

参与観察

[一宮特別支援学校]

ワークショップ1

- 自身の描いた絵について、その絵の特徴を具体的に伝えて説明しようとする様子が確認された。
- 尾州産生地に触れることでの質感や触感の違いを言葉で表現して伝えようとする発言が多数あった。
- 授業後は次回への期待を示す言動を確認した。
→生徒の意欲を高める契機になったと推察される。

ワークショップ2

- 東袋配布時には、受け取り後すぐに互いに見せ合い、感想を積極的に伝え合う様子が認められた。
- 配布後には自然に拍手が起きていた。
- 東袋の使用方法を学習した際には、自ら車椅子に取り付けて試すなど、積極的な行動が見られた。
- くるみボタンの制作では、制作後の使用を見据えて取り組む発言が生徒から見えた。

[一宮東特別支援学校]

ワークショップ1

- 生徒が活発にコミュニケーションを取りながら作画を進める様子が認められた。
- 生地の背景色を選択する際には、色見本に作画した絵を合わせて背景に合う色を比較していた。
→布製品の完成を想像して活動に取り組んでいた。
- くるみボタンの生地選びでは、生徒が中心に協議を行い、1点に選定を進める様子が確認された。

ワークショップ2

- 風呂敷と巾着袋を配布した直後、説明された使用方法を積極的に試行する様子が多数認められた。

アンケート

(1) 授業アンケート

開始前：肯定的な感情を示す回答が多数

「ワクワクする」といった期待感がある

終了後：同様に肯定的な感情が多い

「うれしい」「おもしろい」といった喜び

→ワークショップ型授業が生徒にとって、

充実感をもたらす内容だったと推察できた。

(2) 事前アンケート・事後アンケート

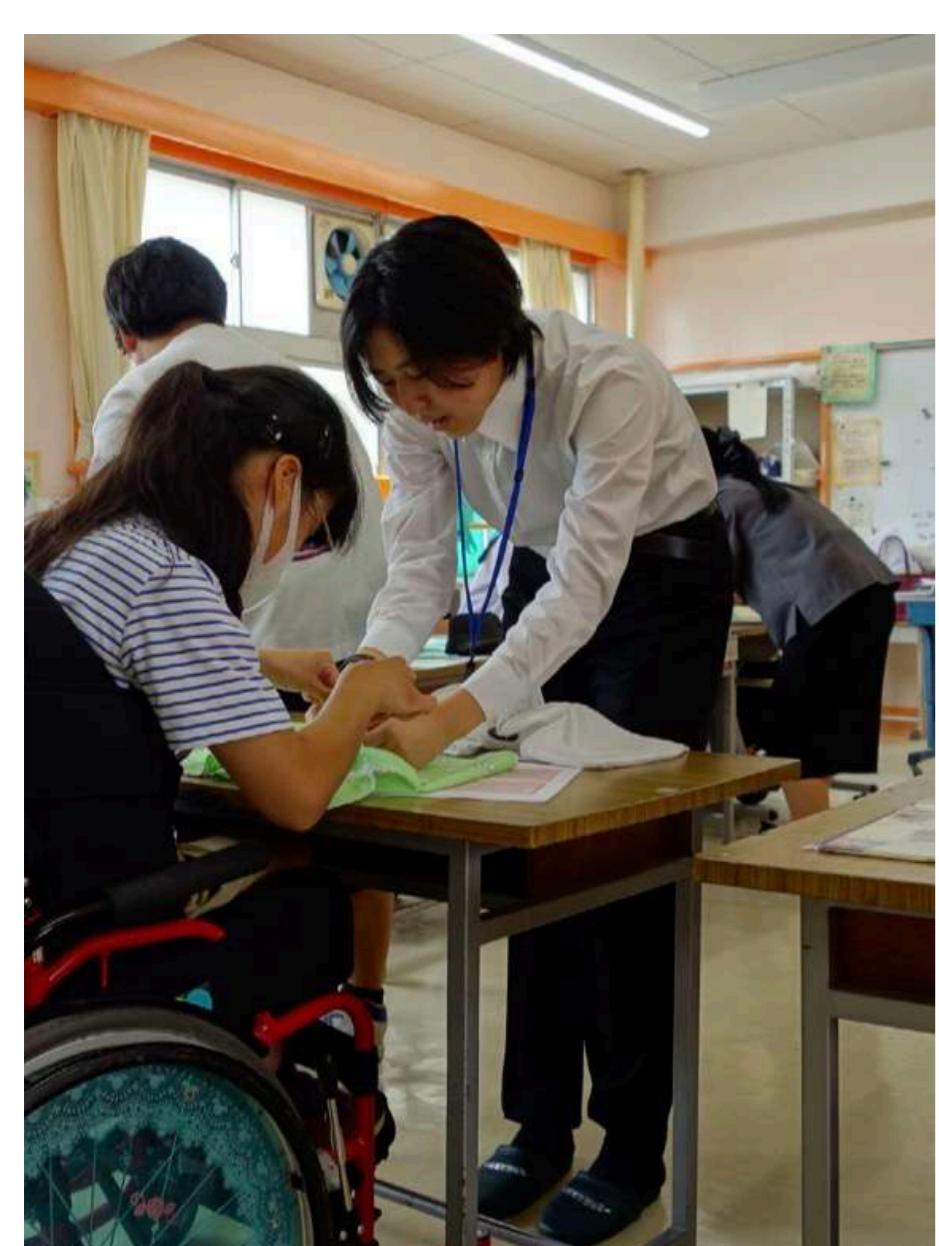
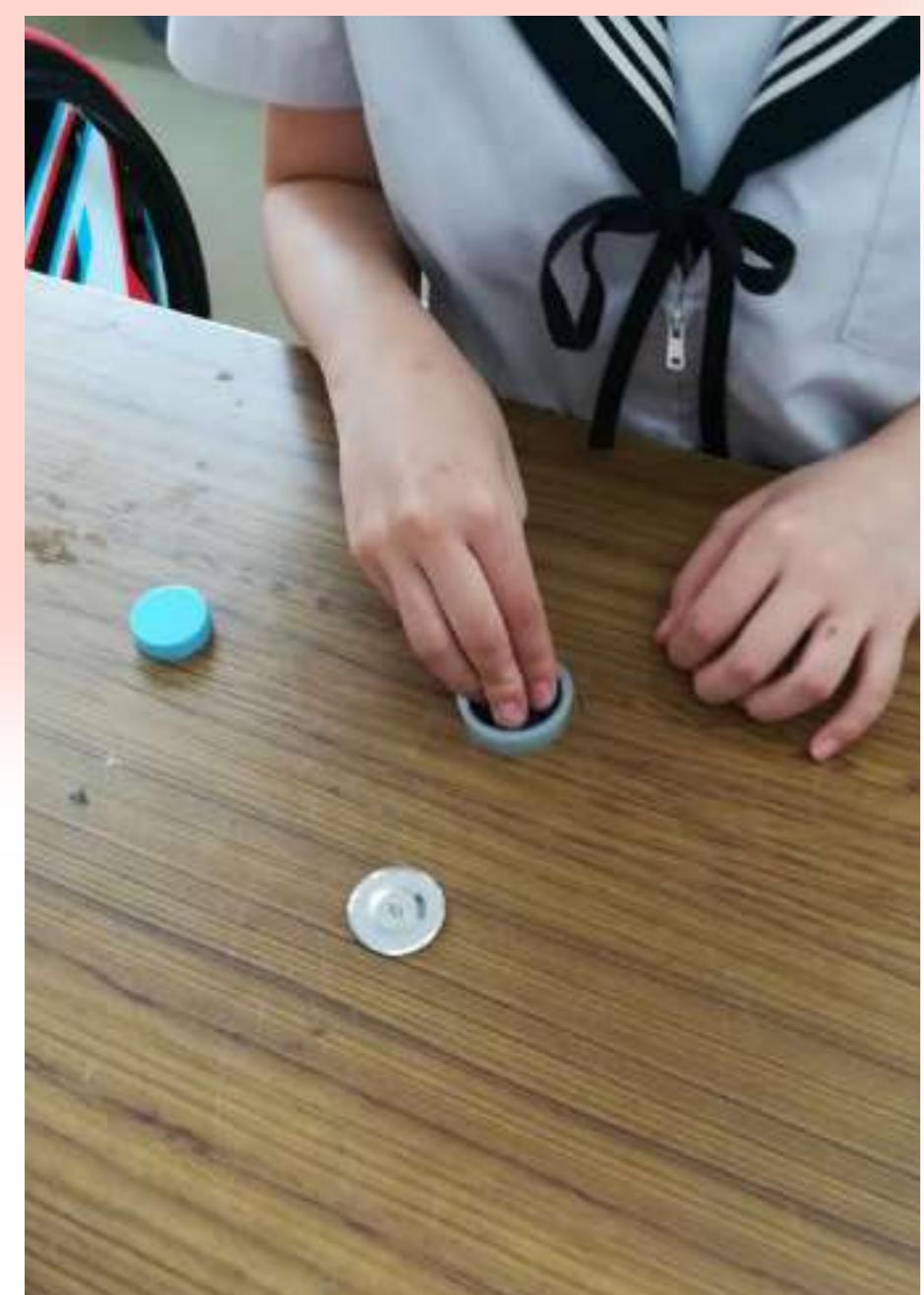
事前アンケート：自分の考えや思いを表現することに消極的な傾向が見られた。

事後アンケート：表現することや活動への参加を前向きに捉える変化が確認された。

→ワークショップ型授業の対話的な学習環境が、安心感や主体性を高めたと推察される。

総括

「自分らしさ（柄作画）」、「地域らしさ（尾州産生地）」、「みんならしさ（共通のくるみボタンをみんなで作り、持つ）」を取り入れたワークショップ型授業は、生徒の自己表現を促し、心境・意識・行動を変化させる教育的効果があることを実証できた。



参考文献

- 新井義史：『ワークショップと造形教育(2)——ワークショップの広がりとその理念——』北海道大学紀要, 1996
- 文部科学省：学習指導要領「生きる力」：https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/index.htm